

『わかる！読める！心電図ガイド症例解説 Q&A』追加情報

2026 年 6 月 17 日

診断と治療社 編集部

■心房粗動について (p.11)

心房の興奮頻度を 300 /分とすると、心拍数は 4 : 1 伝導で約 75 /分、2 : 1 伝導になると約 150 /分 (動悸・息切れ)になる。理論上、1 : 1 伝導が仮に起こると約 300 /分 で失神あるいは心肺停止状態になると思われるが、健康な心臓の房室結節には減衰伝導特性があり、そのような高頻度興奮を心室へ伝導させることはない。例外として、WPW 症候群の合併 (いわゆる偽性心室頻拍の一種) や Na^+ チャネル遮断薬により粗動周期が延長した場合、例えば 300/分から 200 /分に低下した場合には 1 : 1 伝導して心拍数が 200 /分になり失神するような事態はありえる。1 : 1 伝導の心房粗動は危険なので、もし心房粗動を Na^+ チャネル遮断薬で治療する場合は β 遮断薬を併用する。